



## 北海道山紀行 2008年版

昨年（2007年）に続いて今年（2008年）も北海道の山紀行を行いました。

昨年 天候やスケジュールなどの諸事情で登れなかった山に再度挑戦する事と、今度は 北海道のマイナーな山にも登ってみようと思って計画しました。

昨年は花の多い6月から7月にかけて出かけましたが、今年は8月1日にどうしてもやらなければならない仕事が入ってしまったので、花の時期には遅すぎて、ただ登るだけの山旅になってしま

いましたが8月4日から約一ヶ月間の予定で計画しました。昨年と同じく愛車RAV4に寝泊まりしながら回るため、今年は昨年の経験からより居住性が良くなるように車内を改造しました。ベッドスペースを一段高くし広く取ることで 就寝性が格段に向上しましたし、ベッドの下に収納スペースが確保出来ました。今回の旅行中にも色々改良したいところが出てきましたので、来年は更に快適なベッドメイキングをしたいと計画中です。



●さあ出発だ！8月3日の夜中に新潟に向けて家を出ました。夜中に出発した理由は、フェリーが明朝10時新潟港を出るので、朝8時頃には新潟港に着いていなければならないこと、相模湖ICから新潟亀田ICまでの高速道路利用がETCの深夜割引で4割引になるためです。夏休みのトップシーズンの前なのでフェリーはまだ客が少なくゆったり、快適な船旅でした。

(今回収得したフェリーの技：乗船から出港まで1時間近くあるのでその間に風呂にはいってしまうこと。風呂はきれいだし空いているし、風呂上がりにビールを飲みながら出航を祝える)。

・8月5日早朝4時過ぎ、まだ明け切らぬ真っ青な空の下、フェリーは無事小樽港に入港しました。

いよいよ昨年に続いて2回目の「北海道山紀行」の始まりだ！！

私の山行の細かい記録などはここに載せても皆様あまり興味が無いと思いますし、紙面も限られていますので、ここには登った山の関係資料の一覧と簡単な話を記載します。



<明け切らぬ小樽港に入港>

昨年は行程の途中で民宿とか、人に会うとか予約の日を設定しました。そのため日程が制約されてしまい、天候がくずれても天候の回復を待つことなしに計画通り行動しなければならなかったし、民宿代が結構高く費用も嵩んでしまいました。今年は大体のコースを決めただけで、何処へいつ行くかは殆ど計画なし行動しました。そのためその都度天気の良い場所と日とを選んで山に登ることが出来ましたし、ほとんど車の中で寝泊りしたのでかなり安く上げることができました。

### \*登った山の話\*

①「神居尻山」：増毛山地の南、樺戸山地の北部に位置する標高1000m足らずの山だが切れ落ちた尾根は標高以上の迫力を感じさせる。花の豊富な山らしいが今回は花の時期には遅いためあまり多くの花にはお目にかかれなかった。今回の北海道山紀行の最初の山は幸先良く晴天に恵まれたが、結局終日誰一人会うこともなく静かだが寂しい山旅から始まった。



<神居尻山山頂>



②「南暑寒岳」： 翌日に登ったのは「南暑寒岳」。花の山「暑寒別岳」の東に位置し「雨竜沼湿原」を横断して山頂に向かう。雲一つない快晴で山頂からは暑寒別岳への縦走路が延々と続くのが見渡せる。花の季節には遅すぎたので残念ながら雨竜沼湿原に花は殆ど咲いてなかった。また花の時期にぜひ来てみたい所だ。



<雨竜沼湿原と南暑寒岳>



<十勝岳山頂>

③「十勝岳」： 午後から晴れるというので視界の全く無いガスの中を登った。狭い頂上には体育の授業の一環と思われるジャージ姿の高校生のグループがあふれている。聞くと富良野岳から来てこれから美瑛岳へ行くという、若いとはいえ恐ろしいやつらだ。引率の先生が無線でどこかとやり取りをしていた。ガスがかかっていたのは中腹以上で下界は快晴の真夏。下山してから美瑛の美しい縞模様の畑野を楽しんだ。

④「富良野岳」： 翌日の富良野岳は雲一つない快晴。去年は時間の関係で途中で引き返した無念の山だが今年はリベンジが大成功だ！昨日ガスの中を登った十勝岳が美しい姿を見せている。花の山として有名な山だけあってこの時期でも山頂近くはチシマフーロ、イワブクロ、



<山頂付近のお花畑>



<今日は快晴の十勝岳を望む>

イワギキョウなどなどの花が咲き乱れて夢の世界、とくに富良野岳固有のエゾリソウに出会えたのは最高！  
午後からは少し雲も湧いてきたが、一日中好天に恵まれた。



<富良野岳ではエゾルリソウに出会えた！>



<羅臼岳から硫黄岳方面を望む>

⑤「羅臼岳」：昨年は雨のため断念した羅臼岳なので今年は絶対に登らなくてはならない。富良野岳の後は利尻島へでも行こうかと計画していたが、天候が安定してきたので急遽利尻島をやめて羅臼岳へ向かった。計画変更が大成功！快晴の羅臼岳を登ることが出来た。羅臼平に咲くメアカンフスマや頂上から眺める硫黄岳方面の眺めが最高だった。後日私が登った数日あとに登山道でヒグマに遭遇したという情報があった。事故にはならなかったようだ。

⑥「雄阿寒岳」：昨年は雌阿寒岳を登ったので今年は雄阿寒岳を登ってやろうと思った。日本百名山の雌阿寒岳の混雑とは対照的に、この雄阿寒岳は一日の入山者が10人前後というマイナーな山で、静かな登山が楽しめる。国道脇の登山口に車を止め鬱蒼とした森林の中の登山道を登る。標高差は1000mくらいしかないのに、結構距離があり往復6時間も掛かった。天気は良かったのだが雲が多く、ペンケトー、パンケトーや雌阿寒岳の雄姿などを見ることはできなかった。火山のガレ場が多い北海道の山の中で、木々に覆われた静かな良い山で、登り口は阿寒湖の畔にあり、太郎湖、次郎湖の縁を歩いてから登りに着く。ぜひ一度は登ってみたい山だと思う。



<雄阿寒岳山頂>



⑦「白雲山」：大雪山にある「白雲岳」とは違い然別湖の南岸に位置して聳える標高 1200mほどの



<然別紺を足元に見る>

山である。ただ登山口の標高が 800mもあるため登りは標高差 400mしかなく、一気に登ってしまった。この山はハイキング程度の山として親しまれているようで、今日は日曜日ということもあり、じじばば・孫一緒の家族連れの登山客もいた。山頂は巨岩の折り重なるなかなかスリルのある面白い山だ。山頂からは足元に展開する静かな然別湖を一望できた。下りは別ルートを取り一周出来る。ただ笹が生い茂り足下が見ないので、えらく時間がかかった。

⑧⑨「黒岳・北海岳」：大雪山の名峰黒岳から北海岳へ登った。この日も雲一つない快晴。ロープウエーで黒岳駅、そこからリフトに乗り継いで 1500mの7合目まで一気に登り、あとは黒岳まで 400mちょっとの登りだ。登りの途中でいやな予感がしてリュックの中を確認する。水が無い！なんと水が無い。水を持たない夏山登山なんて自殺行為だ。この快晴の中、山を断念するか。とにかく黒岳までは登ろう。山頂からの展望はすばらしい。昨年登った白雲岳がすぐ目の前だ。地図を見ると 20 分下った石室小屋に「水」のマークがある。石室小屋まで行ってみよう。



<北海岳・旭岳方面>



<キタキツネのお出迎え>

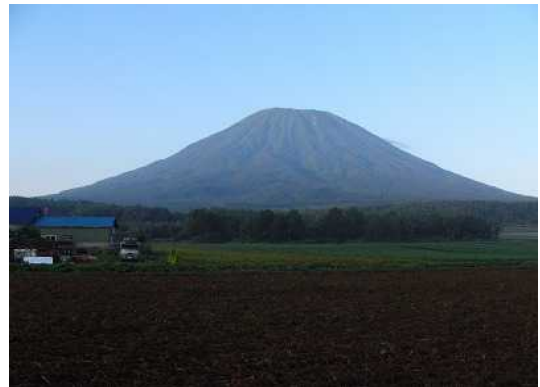
石室で小屋のおじさんに事情を話すと、「俺も昔暑寒別岳で水を忘れて死ぬ思いをしたよ、北海岳へは途中飲める沢があるから大丈夫」と。おかげさまで無事北海岳を往復してきた。沢の水で水分補給したのでエキノコックス感染が心配だが、エゾリスやキタキツネと挨拶をかわしながらの楽しい山になった。水だけは決して忘れてはいけない！あらためて。

⑩「チセヌプリ」：ニセコにある山のひとつチセヌプリは、なんとなく夢を感じるその名前から登ってみたいと思った山で、昨年登った目国内岳のそばにある。視界の全くない濃いガスの中の登山となった。おまけにこんなガスの中平日に誰一人として歩いていない。常にヒグマに追いかけているような恐怖感を抱きながら駆け足で往復した。天気良ければニセコアンヌプリや羊蹄山などニセコの山を一望する絶好の山のはずが、何も見えない大変怖い山だった。



<長沼とガスのかかったチセヌプリ>

⑪「後志羊蹄山」：蝦夷富士という別名を持つ富士山そっくりの独立峰です。登山口の標高が約 300mで頂上が約 1900m、標高差 1600mの一定の斜面をひたすら登るだけ。昨日のチセヌプリはガスの中だったが、今日の羊蹄山は快晴で明けた。



<快晴で明けた羊蹄山>



<羊蹄山山頂>

ニセコアンヌプリを背面に見ながら黙々と高度を稼ぐ。頂上は大小の噴火口が二つ、お釜の縁を回って剣が峰の頂上に立つのも富士山に似ている。昼近くなると雲が湧いてきて南の洞爺湖方面の視界はない、北に目を向けると足下の倶知安から遠く岩内、積丹方面が望まれる。しんどかったけど天気が良かったので楽しい山だった。

「道南の山」：予定ではこれから道南に行って「狩場山」「大千軒岳」を登るつもりだったが、天候が崩れてきたし、道南はヒグマの宝庫だし、夏休みを過ぎてめっきり人が少なくなり単独行は危険すぎると思い、道南の山は中止して今回の「北海道山紀行」を終わることにした。

## \*山以外の話\*

①道の駅スタンプラリー : 昨年もあったが今年ちょっと気合いを入れてラリーに参加した。北海道には今年104カ所の道の駅があり(毎年数カ所新設されている)、各駅の事務所に置いてあるスタンプを押して集めるラリーです。今年は頑張って51カ所のスタンプを集めて登録してきました。何か記念品が当たるのでしょうか? 北海道の道の駅はそれぞれ特徴を出そうと競い合っているようで、童話に出てくるようなきれいで楽しい建物や、レストランや、入浴施設などが充実していて大変楽しい所です。トイレもウォッシュレットで24時間OKというところも多く、もしも車内で寝られるのであればホテルや民宿などに泊まる必要は全く無く、快適な旅ができます。

②鮭をもらった話 : 道の駅では同じように車中泊で旅をしている人が日本全国から来ていて、豪華なキャンピングカーで長旅をしているご家族(だいたい老夫婦)や、軽のライトバンを改良した車から「やっぱり狭いわ」と朝、目をこすりながら出てくるご夫婦など、ここも格差社会ですが、朝の挨拶のあとはみな平等にうち解けて話が弾みます。

宇登呂に今年開設した道の駅「うとろ・シリエトク」は宇登呂港に隣接した広くてすばらしい駅です。私はここを基地に2泊して羅臼岳へ登ったのです。ちょうど鮭の遡上の時期になり、遡上の前に河口に集まる鮭をねらった釣り人が各地から集まり駐車場はキャンピングカーでいっぱい、みんな一ヶ月近く鮭をねらって停滞している。私の隣に留まっていたキャンピングカーのおじさんは茨城から来ていて、私が羅臼岳から戻った日の翌朝「今日は大収穫、3匹釣れた」と得意顔。3枚に下ろしたでかい鮭の半身が6枚クーラーボックスの中にある。



<でかい鮭の半身をいただいた>

私に一枚持って行けという。「一人では食いきれないし、保存容器も調理器具も持っていない」といって断っても、どうしても持って行けということで、やむなくでかい鮭の半身をいただくことになった。おかげでそれからが大変。コンビニで氷を買うやら、網走へ行ってフライパンや焼き網を買うやらで、一日つぶれてしまった。結局それから毎日鮭を食う羽目になった。ちゃんちゃん焼きを2回、あとは全部塩焼きにして保存。ラーメンに入れたり、野菜炒めに入れたりして結局4日間鮭料理となった。旨いことは旨かった。

③旭川の病院 : 出かけるときから首が痛かったが、神居尻山へ登った日は痛くて首が回らず車のバックも苦しいくらい、これではこれからの旅ができなくなりそうで、急遽旭川の病院に行くことにした。旭川に早朝着いたが病院のあてなど全くない、どうしたものかと道端に車を止めたら後ろからタクシーに怒られた。怒られついでに運転手に「どこか良い病院はないか」と訪ね森山病院を教えてもらった。これがまた名医に遭遇、診断と病状説明にいたく納得し安心して今後の山紀行を続けられることとなった。治療は湿布薬だけで、数日間は痛かったが帰る頃にはすっかり痛みを忘れていた。

## 2008年 北海道山紀行 : 登った山

	山	日時	天気	標高	標高差	距離	所要時間	所要歩数
1	神居尻山	8月6日	晴	946.7	660	11.0	5:30	13860
2	南暑寒岳	8月7日	快晴	1296.3	730		7:15	33160
3	十勝岳	8月9日	ガス	2077.0	1140		5:15	26240
4	富良野岳	8月10日	快晴	1912.1	630	9.7	6:00	22870
5	羅臼岳	8月12日	快晴	1661.0	1400	13.8	8:40	31070
6	雄阿寒岳	8月16日	晴	1370.5	925	11.5	6:20	20350
7	白雲山	8月17日	快晴	1186.0	370	5.0	2:55	7390
8	黒岳 から	8月18日	快晴	1984.0	(445)		6:00	19120
9	北海岳へ(往復)			2134.0	595			
10	チセヌプリ	8月21日	ガス	1134.5	385	8.5	3:40	9060
11	後志羊蹄山	8月22日	快晴	1893.0	1545	13.5	7:30	20200
合計					8370			203320

### コースタイム

#### 1 神居尻山(946.7m) 8月6日(水) 晴

		標高
7:25	道民の森登山口駐車場発	285
7:39	Bコース登山口	335
8:00 ~ 8:05	休憩	450
8:30 ~ 8:35	休憩	640
8:45 ~ 8:50	尾根に出る	730
9:30 ~ 9:40	Cコースと合流	855
10:13 ~ 11:00	神居尻山山頂	945
11:10	避難小屋	900
11:20	ピンネシリ分岐	895
12:00 ~ 12:05	休憩	685
12:24	林道と交差	530
12:59	Aコース登山口(駐車場)着	295
所要時間	5時間35分	標高差 660m



2 南暑寒岳(1296.3m) 8月7日(木) 快晴

			標高
	7:00	南暑寒荘・駐車場発	560
	8:10 ~ 8:20	休憩	860
	8:30	湿原入口	865
	8:45 ~ 8:55	展望テラス	860
	9:25	湿原出口	860
	10:02 ~ 10:10	休憩	1010
	10:58 ~ 11:30	南暑寒岳山頂	1295
	12:30	湿原出口	870
	13:00 ~ 13:10	展望テラス	865
	14:10	南暑寒荘・駐車場着	560
所要時間	7時間10分		標高差 735m

3 十勝岳(2077m) 8月9日(土) ガス

			標高
	8:40	十勝岳展望台駐車場発	940
	9:25 ~ 9:30	休憩	1290
	10:00 ~ 10:05	休憩	1500
	10:34 ~ 10:40	昭和噴火口	1720
	11:25 ~ 11:50	十勝岳山頂	2080
	12:25	昭和噴火口	1730
	13:22	美瑛岳分岐	1245
	13:55	十勝岳展望台駐車場着	935
所要時間	5時間15分		標高差 1140m

(下りは休憩なし)

4 富良野岳(1912m) 8月10日(日) 快晴

			標高
	6:00	十勝岳温泉稜雲閣前駐車場発	1280
	6:23	安政火口分岐	1415
	6:48 ~ 6:50	上ホロカメットク分岐	1505
	6:58 ~ 7:00	休憩(沢)	1505
	7:58 ~ 8:05	休憩	1645
	8:22	縦走路(上ホロカメットク分岐)	1745
	9:05 ~ 9:45	富良野岳山頂	1910
	10:20	縦走路(上ホロカメットク分岐)	1740
	11:02	沢を渡る	1545
	11:09 ~ 11:15	休憩(沢)	1495
	11:22	上ホロカメットク分岐	1495
	11:38	安政火口分岐	1420
	11:58	十勝岳温泉稜雲閣前駐車場着	1285
所要時間	6時間		標高差 630m

## 5 羅臼岳(1660.2m)

8月12日(火) 快晴

			標高
4:55	岩尾別温泉駐車場発		260
5:33	オホーツク展望台		530
6:13 ~ 6:22	弥三吉水		810
6:32	極楽平		850
6:55	仙人坂		955
7:12 ~ 7:15	銀冷水		1060
7:21	羽衣峠		1105
7:31	大沢入口		1140
8:22 ~ 8:27	羅臼平		1360
8:47	岩清水		1445
9:23 ~ 9:55	<b>羅臼岳山頂</b>		1660
10:22 ~ 10:27	岩清水		1440
10:42 ~ 11:10	羅臼平		1355
11:44	羽衣峠		1105
11:48	銀冷水		1065
12:00	仙人坂		965
12:18	極楽平		855
12:27 ~ 12:37	弥三吉水		825
13:33	木下小屋		290
13:40	岩尾別温泉駐車場着		260
所要時間	8時間40分	標高差	1400m

## 6 雄阿寒岳(1370m)

8月16日(土) 晴

			標高
6:55	登山口駐車場発		450
7:28	一合目		515
7:50 ~ 7:55	二合目		670
8:15	三合目		785
8:31 ~ 8:35	休憩		895
9:20 ~ 9:25	五合目		1195
10:15 ~ 10:50	<b>雄阿寒岳山頂</b>		1370
12:05 ~ 12:10	三合目		785
12:26	二合目		670
12:44	一合目		515
12:55 ~ 13:00	次郎湖		440
13:15	登山口駐車場着		445
所要時間	6時間20分	標高差	925m

## 7 白雲山(1186m)

8月17日(日) 晴

			標高
8:22	然別湖南岸登山口発		820
9:18	鞍部		1090
9:40 ~ 10:00	白雲山山頂		1185
10:33	天望山分岐		960
10:51	天望山登山口		820
11:15	然別湖南岸登山口着		815
所要時間	2時間50分	標高差	370m

## 8.9 大雪山:黒岳(1984m)・北海岳(2134m)

8月18日(月)

快晴

			標高
6:00	ロープウエー始発		675
6:10	黒岳駅(五合目)		1300
6:25	リフトで上る(七合目)		1540
6:35	七合目発		1540
7:50 ~ 8:05	黒岳山頂		1985
8:22 ~ 8:30	黒岳石室		1895
8:43	沢を渡る		1835
9:21 ~ 9:25	休憩(ベンチ)		1950
9:55 ~ 10:15	北海岳山頂		2135
11:27 ~ 11:30	黒岳石室		1895
11:48 ~ 11:55	黒岳		1985
12:35	七合目着(リフト駅)		1544
リフト・ゴンドラで下る	層雲峡駅		670
所要時間	6時間	標高差	595m



10 チセヌプリ(1134m) 8月21日(木) ガス

			標高
8:55	神仙沼駐車場発		760
9:07	神仙沼・長沼分岐		770
9:27	神仙沼一周		770
9:37	長沼		790
9:55	長沼を離れる		790
10:11 ~ 10:15	しゃくなげ岳分岐		890
10:22	チセヌプリ分岐		875
10:57 ~ 11:20	チセヌプリ山頂		1135
11:41	チセヌプリ分岐		875
11:48	しゃくなげ岳分岐		890
12:00	長沼に着く		785
12:15	長沼を離れる		785
12:23	神仙沼・長沼分岐		765
12:32	神仙沼駐車場着		750
所要時間	3時間40分	標高差	385m

11 後志羊蹄山(1893m) 8月22日(金) 快晴

			標高
6:00	倶知安コース駐車場発		350
7:00	三合目		755
7:20	四合目		860
7:48 ~ 7:50	5合目・休憩		1045
8:14	六合目		1220
8:40	七合目		1405
9:03 ~ 9:10	八合目・休憩		1590
9:23	九合目		1685
9:35	外輪山へ出る		1830
10:10 ~ 10:20	羊蹄山山頂		1895
10:37 ~ 10:51	真狩コース分岐・昼食		1860
10:56	外輪山分岐		1830
11:11	九合目		1685
11:21	八合目		1590
11:35	七合目		1400
11:51 ~ 11:56	六合目・休憩		1220
12:11	五合目		1045
12:28	四合目		855
12:38	三合目		760
12:52	二合目		640
13:25	倶知安コース駐車場着		355
所要時間	7時間30分	標高差	1545m

## 今回登った山の地図

